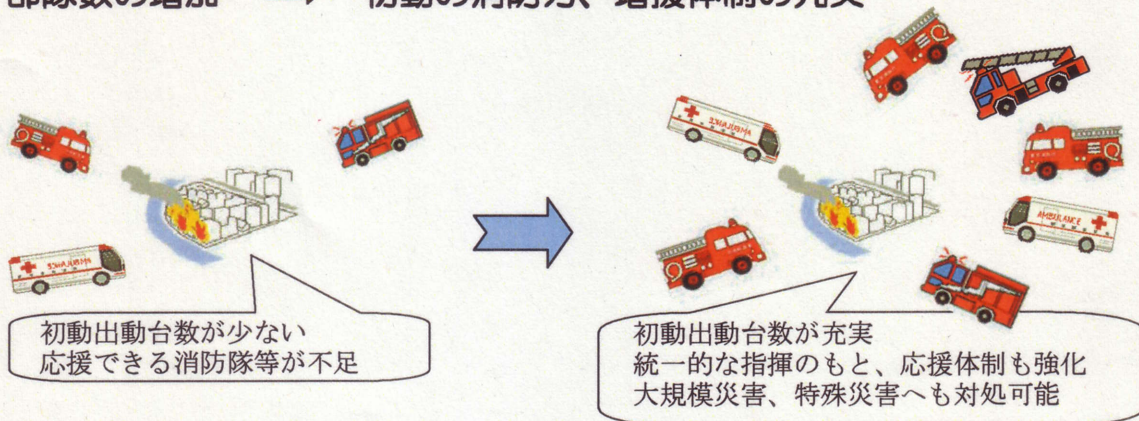


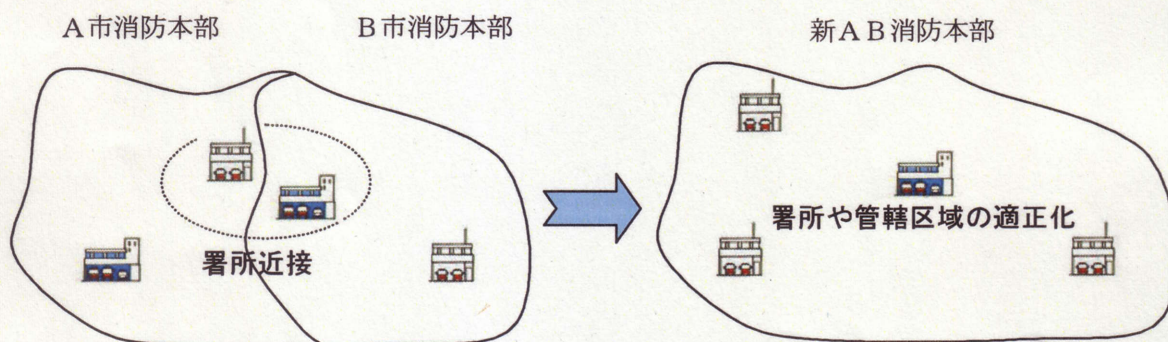
## 広域化によるメリット

### ○ 住民サービスの向上

- ・ 部隊数の増加 → 初動の消防力、増援体制の充実

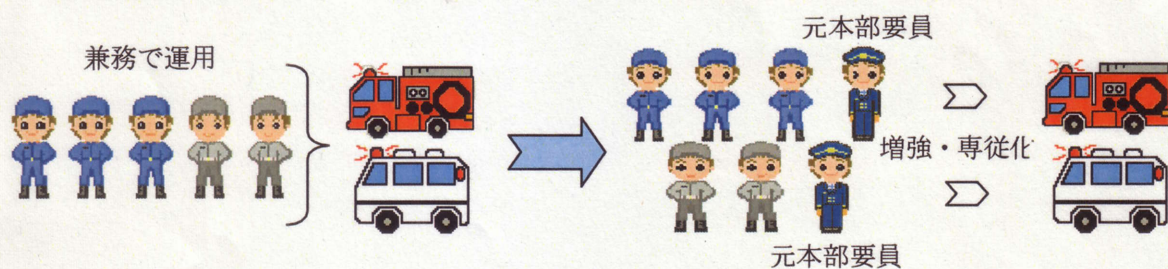


- ・ 消防署所の配置や管轄区域の適正化 → 現場到着時間が短縮

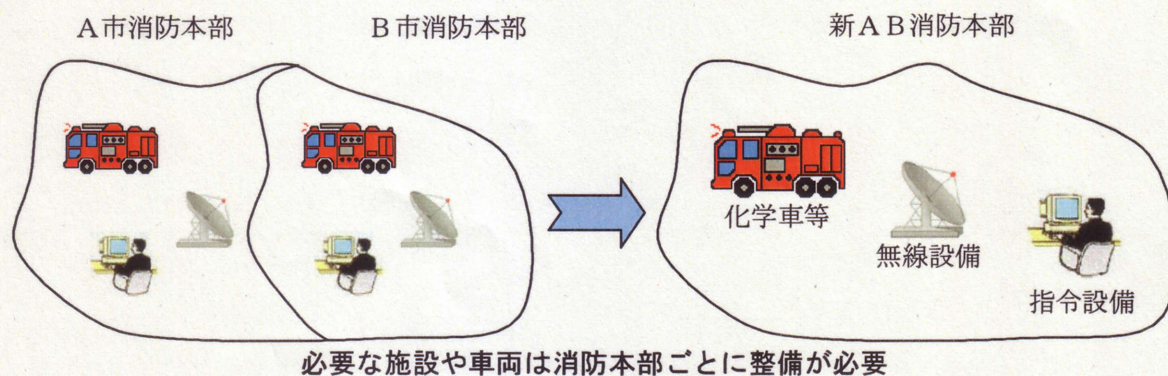


### ○ 消防体制の効率化

- ・ 本部要員の効率化 → 現場要員の増強、救急要員等の養成・専従化等



- ・ 重複投資の回避 → 経費の節減



### ③ 今回の広域化にかかる法改正について

#### ○ 消防体制の基盤の強化

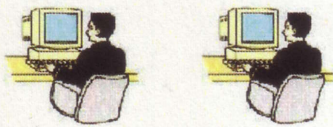
- 財政規模の拡大 → 高度な消防設備、施設等の整備



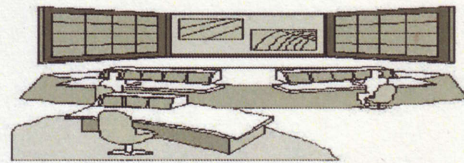
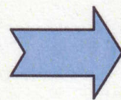
必要最小限の車両を整備



特殊車両等を計画的に増強整備可能



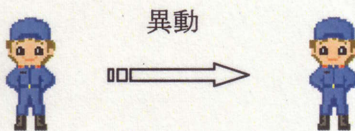
個別に小規模な設備を整備



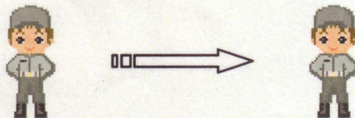
高機能な設備を一元的に整備可能

- 組織、人員規模の拡大 →

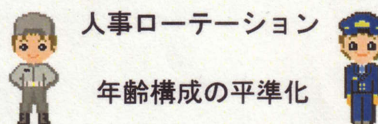
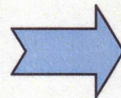
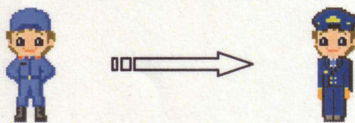
適切な人事ローテーションによる組織の活性化



人事の硬直化



年齢構成が不均衡



専門性を高めながら職員の総合能力が向上

- 予防業務・救急業務の高度化・専門化



火災原因調査専従員の育成



査察・違反処理専門員の育成



救急救命士の育成